

14. HBO 治療中の熱傷事故報告

—手揉カイロによって—

福居光香*¹⁾ 山下優子*¹⁾ 小林恵美子*¹⁾

寺垣秀山*¹⁾ 吉野利夫*²⁾ 龍村俊樹*²⁾

{ *¹⁾富山医科薬科大学附属病院救急部高気圧酸素治療室
救急部看護婦(士)
*²⁾ 同 救急部医師 }

当救急部では、昭和63年5月よりビッカーズ社製第1種装置（純酸素加圧）を導入し、平成2年5月迄に2900件の治療を行なった。当初より、日本高気圧環境医学会の定める安全基準に基づき治療の施行、装置の管理に当たっていたが、2.5絶対気圧で加圧治療中に手揉カイロの異常発熱で治療患者が熱傷し緊急減圧する事故が発生した。

原因の調査・分析から①医師、看護婦、患者及びその家族へのオリエンテーションの徹底。②治療開始直前に行なう点検の改善。③治療に関わる職員への安全基準の再習熟。の3点に、問題点及び反省を踏まえ検討した結果、チェックリストの書式の変更・運用の変更、病院内全職員を対象としたHBO治療に関する講習会の開催等を実施し、以後安全に治療を行なっているため報告する。